



出前
講座

活用して
みませんか

令和6年度は
村山管内で13講座
実施しました！

山形県教育委員会が主催する「ふるさと塾」は、郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、ふるさと山形の生活文化や民俗芸能等を教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進することを目的としています。ふるさと塾「出前講座」では、学校や「ふるさと塾賛同団体」が、地域の文化や民俗芸能の伝承に携わっている方を講師として招き、体験的な活動等を通して学習することができます。

* 令和6年度の活用事例を紹介します *

◆出前講座◆地域の方を講師に、小・中学校で地域の伝統文化を学ぶ



アングイン織に挑戦！最初は苦戦した様子でしたが、慣れてくるとサクサク進みます。100 cmのコースターを2時間かけて丁寧に作りました。

◆地域の宝“青苧”を学ぶ◆(大江町立本郷東小学校 6年生)

大江町で室町時代から栽培されている地域の伝統“青苧”学習の様子です。

大江町で活動されている「青苧復活夢見隊」(ふるさと塾賛同団体)の方を講師に招き、青苧の繊維の取り出し(苧引き)やアングイン織、卒業式で身に付ける青苧のコサージュ作りに挑戦しました。自分たちで採取した青苧が、コースターやコサージュに出来上がっていくことに喜びを感じていました。

『他にはない“ここ”の学校の特別感』を存分に味わい、地域の伝統文化を楽しく学ぶ貴重な時間となりました。



今年も、卒業式で身に付けるコサージュを作りました。青苧で染色した、唯一無二のコサージュ。「他にはない“ここ”の学校の特別感があっていい。」と子どもたちは喜んでいました。

◆研修会◆賛同団体が講師を招き、技能の向上や活動内容の充実を図る

◆自作紙芝居の研修◆(山形紙芝居研究会、どんびんさんすけ)

「みやぎ紙芝居の会」から講師を招き、紙芝居づくりの基本や演じ方の御指導、自作紙芝居に対してのアドバイス等をいただきました。

制作した紙芝居は県自作視聴覚教材コンクールへ出品し、素晴らしい成績を収めました。また、各地域で上演し、多くのみなさまに楽しんでいただいています。



地域に伝わる文化を地域の方より学び、地域に生きる子どもたちへ！
ぜひ、ふるさと塾出前講座をご活用ください。

※『ふるさと塾』に関連する情報は「社会教育課ホームページ」よりご覧いただけます※



詳細はこちらへ
社会教育課ホームページ

※ もっと詳しく知りたい！

➡「ふるさと塾」詳しい内容・分野一覧へ

※ 活動の様子を映像で見たい！

➡『ふるさと塾アーカイブス』へ



※ どんな団体が賛同しているのか知りたい！

➡「ふるさと塾」賛同団体一覧へ

※ 賛同団体に登録するにはどうすればいいの？

➡「ふるさと塾」賛同団体登録用紙へ